であ 宮一帯をお参りする清 している例を他に知らない 中でも自然と建築がこれほど共生 つ 世界を味わ その度ごとにこの 掃き清めら 式年遷宮直後 つては、 たものだ。 私にとっ の しさに 国独特の 伊勢内宮 かる て 20 心が 頃は



写真93-1 別宮多賀宮 (たかのみや)

確実になされてきた。 2つの敷地を得て交互に行われる。 時空を超えた持続可能という概念を、 間を超える永遠性いう俗事を超越した概念がこの空間に可視化される。 もちろん、そこには国家神道としての秘め事が隠蔽され、 そこでは、 朽ち果てる建築材料を前提に建て替えるシステム 金物を使わない木造建築の技術の伝承が 1 3 0 0

こを渡る

ため

0)

さえ定期的

五十鈴川である。

の

写真93-2 五十鈴川

俗事の

界は、 べる、 のように用意され しく反映して つくのである 買うと 当然の ている ようにある種の伝統を受け継ぎながら、 . る。 う日常の行為が高揚感とともに増幅される。 た舞台で共有される宗教的疑似体験と世俗的 溢れる人並みに身を委ねながら、 これを誰もが確認しながら、 心の片隅で翌年への幸せや成功の 日常 現世を激 への家路

身を繰り返す。 勢の街並みの伝統は、 この圧倒的なブランドの栄に浴する門前町でさえ、 繰り返しながら、 こうしてい つまでも続いてい 競争と時代の需要に挑む。 商業的な変 伊

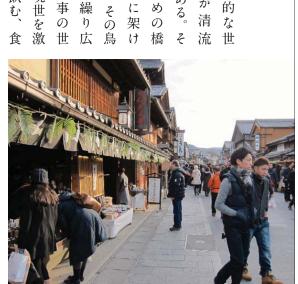


写真93-3 伊勢おはらい町通り

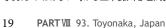


写真93-4 おはらい町から五十鈴川を垣間見る